



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 大王製紙株式会社  
コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐光 正義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 矢野 雅史

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-6895-1014

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

平成25年12月6日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	204,140	2.9	5,276	3.7	2,927	13.7	866	△95.4
25年3月期第2四半期	198,349	△2.8	5,086	△12.8	2,573	13.1	18,728	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,507百万円 (△75.8%) 25年3月期第2四半期 18,604百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.26	—
25年3月期第2四半期	155.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	657,615	—	114,018	—	—	15.5
25年3月期	659,112	—	107,969	—	—	14.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 102,177百万円 25年3月期 97,050百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	5.6	14,500	25.2	10,000	50.7	5,000	△66.9	41.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) エリエールプロダクト株式会社、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	129,018,785 株	25年3月期	129,018,785 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	7,719,937 株	25年3月期	10,839,296 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	119,371,643 株	25年3月期2Q	120,635,771 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 連結の範囲の変更 .....	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象等) .....	12
(4) 補足情報 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、円安・株高を背景に生産・消費・輸出等の各面で回復の動きが見られました。一方で、原燃料輸入価格の高騰や新興国の成長鈍化など今後のリスクとなる要因も存在することから、引き続き注視が必要となっています。

このような状況の中で、当社グループは、ホーム&パーソナルケア事業での紙おむつの輸出・現地生産による海外事業の一層の強化、洋紙事業でのクラフトパルプの増産・生産性向上によるコスト競争力改善と高付加価値品への販売シフト、および組織の統廃合・スリム化による省人化の推進に取り組んでいます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	204,140 百万円	(前年同四半期比	2.9%増)
連結営業利益	5,276 百万円	(前年同四半期比	3.7%増)
連結経常利益	2,927 百万円	(前年同四半期比	13.7%増)
連結四半期純利益	866 百万円	(前年同四半期比	95.4%減)

セグメントの状況は、次のとおりです。

#### ①紙・板紙

売上高	136,203 百万円	(前年同四半期比	1.1%減)
セグメント利益	3,729 百万円	(前年同四半期比	41.7%減)

新聞用紙は、発行部数・頁数の減少により用紙需要が微減となりましたが、当社の販売数量・販売金額ともに前年同四半期並となりました。

印刷用紙は、円安により輸入紙の流入に歯止めがかかり、販売数量は前年同四半期を上回りました。一方、販売単価は4月からの価格修正が進んだものの前年同四半期の水準までは回復せず、販売金額は前年同四半期を下回りました。

板紙・段ボールは、飲料を含めた加工食品分野での需要増・拡販により販売数量は前年同四半期を上回りましたが、販売単価の下落により、販売金額は前年同四半期を下回りました。

#### ②ホーム&パーソナルケア

売上高	62,663 百万円	(前年同四半期比	10.5%増)
セグメント利益	4,654 百万円	(前年同四半期比	397.9%増)

衛生用紙は、販売価格の修正に取り組んだ結果、販売数量は前年同四半期を下回りましたが、販売金額は新商品の拡販も相まって前年同四半期を上回りました。

大人用紙おむつは、新商品の配荷拡大等を進めた結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

ベビー用紙おむつは、国内での販売価格が安定したこと、海外向けの拡販に取り組んだことなどから、国内・海外ともに販売数量・金額は前年同四半期を上回りました。

フェミニンケア用品は、企画品の投入や新商品の配荷拡大を進めた結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

#### ③その他

売上高	5,273 百万円	(前年同四半期比	33.9%増)
セグメント利益	387 百万円	(前年同四半期比	10.1%減)

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,496百万円減少し、657,615百万円となりました。また、負債は前連結会計年度末に比べ7,545百万円減少し、543,597百万円となりました。これらは、借入金の返済によるものです。

純資産は、114,018百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント上昇し、15.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、平成25年5月13日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正しました。詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	430,000	16,500	11,000	5,000
今回修正予想（B）	430,000	14,500	10,000	5,000
増減額（B－A）	－	△2,000	△1,000	－
増減率（％）	－	△12.1	△9.1	－

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年4月1日付の合併に伴い、新たにエリエールプロダクト株式会社が特定子会社となりました。

(2) 連結の範囲の変更

① 第1四半期連結会計期間

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、エリエールインターナショナルタイランド Co.,LTD 及びエリエールインターナショナル코리아 Co.,LTD を連結の範囲に含めています。

また、平成25年4月1日に同一業種の子会社間で合併を行ったことに伴い、次頁のとおり連結の範囲が一部変更になっています。これにより、第1四半期連結会計期間末における連結子会社数は35社となりました。

② 第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間において、エリエール産業株式会社は清算終了したことにより、連結の範囲から除外しています。この結果、当第2四半期連結会計期間末における連結子会社数は34社となりました。

(平成25年4月1日に合併した子会社の一覧)

平成25年3月31日以前		平成25年4月1日以降	
中部大王製紙パッケージ株式会社 大王製紙パッケージ株式会社 関西大王製紙パッケージ株式会社 中国大王製紙パッケージ株式会社 九州大王製紙パッケージ株式会社 大王製紙デザインパッケージ株式会社	注1, 3 注1 注1 注1 注1 注1	大王パッケージ株式会社	注4
大建紙販売株式会社 大阪紙販売株式会社 中国紙販売株式会社 中京紙パルプ販売株式会社	注1, 3 注1 注1 注2	大王紙パルプ販売株式会社	注4
大王紙運輸株式会社 名古屋紙運輸株式会社 北関東紙運輸株式会社 大宮運輸株式会社 エリエール運輸株式会社 三和倉庫作業株式会社	注1, 3 注2 注2 注2 注2 注2	ダイオーロジスティクス株式会社	注4
ダイオーペーパーコンバーティング株式会社 エリエールペーパーテック株式会社	注1, 3 注1	エリエールプロダクト株式会社	注4
セカンドリーファイバー株式会社 四国エネルギー作業株式会社	注2, 3 注2	ダイオーエコワーク株式会社	注5
ダイオーペーパーテック株式会社 株式会社ダイオーパッキングシステム ダイオーミルサポート株式会社	注1, 3 注2 注2	ダイオーミルサポート株式会社	注4
ダイオーエンジニアリング株式会社 ダイオーメンテナンス株式会社	注1, 3 注1	ダイオーエンジニアリング株式会社	注4
株式会社エリエールリゾーツゴルフクラブ エリエール商工株式会社	注1, 3 注1	株式会社エリエールリゾーツゴルフクラブ	注4

- (注) 1. 平成25年3月31日以前の連結子会社  
2. 平成25年3月31日以前の非連結子会社  
3. 存続会社  
4. 平成25年4月1日以降の連結子会社  
5. 平成25年4月1日以降の非連結子会社

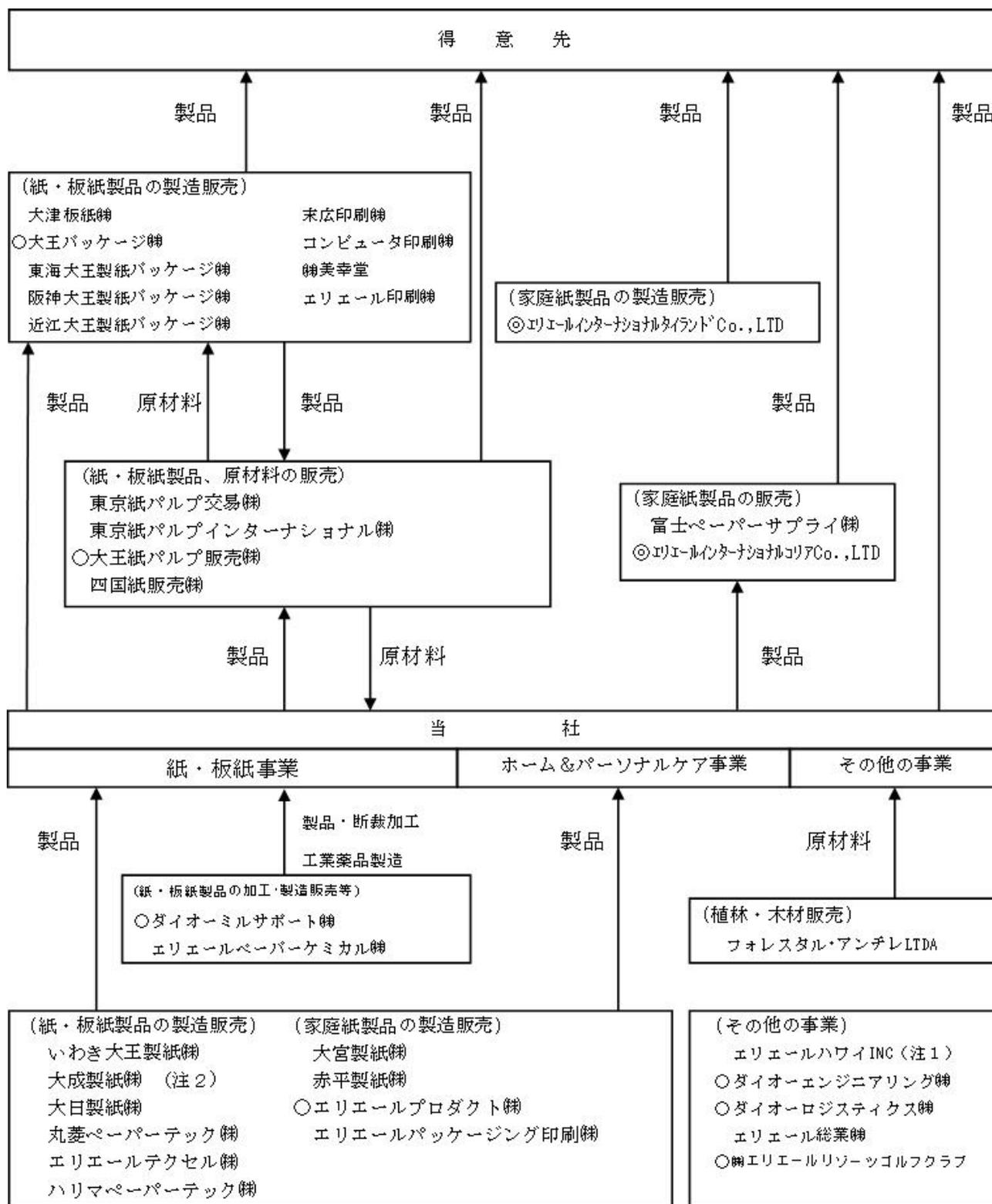
事業系統図によって示すと、次頁のとおりです。

無印 前連結会計年度末における連結子会社 25社

(当第2四半期連結会計期間に清算終了したエリエール産業株式会社を除きます。)

◎ 非連結子会社から連結子会社に異動した会社 2社

○ 平成25年4月1日に合併した連結子会社 7社



(注) 1. エリエールハワイINCを親会社とするエリエールハワイINCグループを連結子会社の1社としています。  
 2. 大成製紙株式会社は、紙・板紙製品及び家庭紙製品を製造販売しています。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、一部の有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）より全ての有形固定資産について、定額法に変更しております。

当社は、平成24年9月7日付で公表しました「中期事業計画の策定について」のとおり、平成24年8月15日に創業家が所有していた関連会社等株式を取得後、組織再編や生産・販売・物流体制の見直しを進め、新グループ体制として経営基盤の再構築を進めております。平成25年4月には、新グループ体制による生産子会社を含めた生産拠点と生産設備の統廃合、物流・販売等の最適化による生産・販売体制の再構築を図るため、子会社27社を事業別に8社に統合いたしました。今回の減価償却方法の変更は、生産拠点と生産設備の統廃合、生産・販売体制の再構築、グループ全体の資金効率向上と関係会社の資金管理強化を目的としたグループファイナンスの導入などを契機に、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から有形固定資産の減価償却方法について再度検討したものであります。

その結果、当社グループの有形固定資産は、耐用年数内で安定的に稼働していることから、使用期間にわたり費用を均等に負担させることが、より適切に事業の実態を反映する合理的な方法であると判断し、当社グループの有形固定資産の減価償却方法を当社の主たる減価償却方法である定額法に統一いたしました。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益が541百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が558百万円増加しております。

なお、この変更がセグメントに与える影響は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,210	91,218
受取手形及び売掛金	90,108	80,010
たな卸資産	61,392	62,897
その他	8,574	9,713
貸倒引当金	△26	△13
流動資産合計	246,258	243,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,895	64,913
機械装置及び運搬具（純額）	128,817	130,819
土地	81,474	81,893
その他（純額）	17,025	16,426
有形固定資産合計	292,213	294,052
無形固定資産		
のれん	68,170	67,016
その他	3,247	3,375
無形固定資産合計	71,418	70,392
投資その他の資産	49,132	49,275
固定資産合計	412,764	413,719
繰延資産	89	70
資産合計	659,112	657,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,229	36,892
短期借入金	66,790	65,000
1年内返済予定の長期借入金	111,290	110,327
未払法人税等	3,389	1,285
引当金	3,877	4,186
その他	38,803	44,924
流動負債合計	260,381	262,616
固定負債		
社債	35,740	25,650
長期借入金	226,988	224,316
長期設備関係未払金	4,969	7,389
退職給付引当金	14,782	15,410
役員退職慰労引当金	594	337
環境対策引当金	266	280
その他	7,419	7,597
固定負債合計	290,761	280,980
負債合計	551,142	543,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,562
利益剰余金	52,967	53,377
自己株式	△6,695	△5,055
株主資本合計	106,089	108,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,120	2,174
為替換算調整勘定	△10,159	△8,295
その他の包括利益累計額合計	△9,039	△6,120
少数株主持分	10,919	11,840
純資産合計	107,969	114,018
負債純資産合計	659,112	657,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	198,349	204,140
売上原価	160,339	160,468
売上総利益	38,009	43,672
販売費及び一般管理費	32,923	38,395
営業利益	5,086	5,276
営業外収益		
受取利息	138	69
受取配当金	405	314
持分法による投資利益	209	—
その他	2,144	1,605
営業外収益合計	2,898	1,989
営業外費用		
支払利息	3,392	3,525
その他	2,018	813
営業外費用合計	5,410	4,339
経常利益	2,573	2,927
特別利益		
固定資産売却益	32	276
受取保険金	228	14
段階取得に係る差益	19,411	—
持分変動利益	—	137
その他	4,725	127
特別利益合計	24,397	554
特別損失		
固定資産除売却損	500	331
減損損失	2,007	760
災害による損失	250	85
投資有価証券評価損	2	126
早期退職費用	—	205
特別調査費用	—	180
その他	795	59
特別損失合計	3,556	1,749
税金等調整前四半期純利益	23,415	1,731
法人税、住民税及び事業税	1,315	1,110
法人税等調整額	△418	△745
法人税等合計	896	364
少数株主損益調整前四半期純利益	22,518	1,367
少数株主利益	3,789	500
四半期純利益	18,728	866

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,518	1,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,613	1,076
為替換算調整勘定	△292	2,062
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	—
その他の包括利益合計	△3,913	3,139
四半期包括利益	18,604	4,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,871	3,783
少数株主に係る四半期包括利益	3,733	723

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	137,687	56,724	194,412	3,937	198,349	—	198,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,633	260	5,893	5,377	11,271	△11,271	—
計	143,321	56,984	200,305	9,315	209,620	△11,271	198,349
セグメント利益	6,394	934	7,328	430	7,759	△2,673	5,086

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業及び売電事業等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2) 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	136,203	62,663	198,866	5,273	204,140	—	204,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,865	350	7,216	19,425	26,641	△26,641	—
計	143,068	63,013	206,082	24,699	230,781	△26,641	204,140
セグメント利益	3,729	4,654	8,383	387	8,770	△3,494	5,276

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業及びゴルフ場事業等を含んでいます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	前第 2 四半期連結累計期間	当第 2 四半期連結累計期間
報告セグメント計	7,328	8,383
「その他」の区分の利益	430	387
セグメント間取引消去	31	△382
全社費用（注）	△2,704	△3,111
四半期連結損益計算書の営業利益	5,086	5,276

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社グループは、第1四半期連結会計期間において、有形固定資産の減価償却方法を変更したことに伴い、報告セグメントの減価償却方法を変更しています。

これにより、従来の方法によった場合に比べて当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、紙・板紙部門で425百万円、ホーム&パーソナルケア部門で100百万円、その他部門で15百万円増加しています。

（重要な後発事象）

当社は平成25年11月11日開催の取締役会において、会社法第135条第3項に基づき、連結子会社9社が保有する親会社株式（自己株式）を処分することを決議しました。詳細につきましては、本日公表の「子会社の所有する親会社株式の処分に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. 補足情報

(関連当事者情報)

連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引  
役員及び個人主要株主等

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 被所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	当第2四半期 連結会計 期間末残高 (百万円)
役員及び その近親者	井川高幸 (注1)	-	-	四国紙販売㈱ 代表取締役社長	直接 0.1%	-	子会社株式の 購入(注2)	49	-	-

- (注) 1. 井川高幸は、当社専務取締役 井川英高の二親等以内の親族です。  
2. 購入価格については、財産評価基本通達で定める時価純資産価額方式を基に決定しています。  
3. 取引金額には、消費税等は含まれていません。